

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33501	住まいの文化 House and Culture	阿部 順子	専門	2	選択	1・2年前期
<b>科目の概要</b>						
生活の器である住居は、長い歴史の中で、地域の風土や社会のあり方を反映して、発展してきた。住居の有り様は、そこで展開される個人・家族の生活の現れであるとともに、社会の現れでもあり、それゆえ文化の現れでもある。わが国の住まいの文化はどのように継承され、変化してきたかを学び、将来のよりよき住まい方につなぐ方途を明らかにする。この授業では、住まいにおけるライフスタイルを自らデザインできるように必要な専門的知識を修得し、活用できる能力を身につける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
①住居の基本的知識を習得する。 ②歴史的、空間的に比較することで、わが国の住まいの特徴的な文化を学ぶ。 ③住まいで受け継がれてきた文化の背景となる風土・環境・社会の有り様を知り、いかに将来につないでいけるかを考える。			①わが国の住まいの文化について、その特徴や形成要因を適切に説明できる。 ②住まいの文化をどのように生活に活かし、将来につないでいくべきかについて自らの意見を述べるができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	日本の住まいの文化を知るという目標に向かって、教科書や講義を基礎に、自らすすんで自己学習を進めていくことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	実物を観察する、資料を収集する、問いかける、議論するなど、能動的に取り組みつづけることができる。				
考え抜く力	課題発見力	事象の背景にある脈絡や関係性について、常に「なぜ」と問いかけ、より高次のステップを目指すための課題を見つけることができる。				
	計画力					
	創造力	事象を理解し、知識を習得することを通じて、さまざまな知識を有機的に関連づけられるような、自らの知のフレームを創り上げるよう努力できる。				
チームで働く力	発信力	学習の過程で抱いた疑問や知見を、より広い文脈の中に位置付け、ポイントを適確に示しつつ要領よく発信することができる。				
	傾聴力	人の意見に対して、真摯に受け止めようとする態度をもって耳を傾けるとともに、その意見への賛否を応答し、発展的な議論となるように展開することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	明示的なルールに従うことにとどまらず、共に学ぶ者が啓発し合えるように、良識ある態度で授業に取り組むことができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト：『図解住居学1 住まいと生活』第二版、図解住居学編集委員会、彰国社、2800円 参考文献：『住まいのデザイン』、北村薫子ほか、朝倉書店、2300円 『初めて学ぶ住居学』、＜建築のテキスト＞編集委員会、学芸出版社、2500円						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連：住宅管理、インテリアデザイン、インテリアエレメント、環境デザイン 資格との関連：インテリアコーディネーター						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
授業には相当時間の予習・復習が前提であることをよく理解し、毎回のレポート等に真摯に取り組んでください。			・遅刻は出席とカウントしませんので、ご注意ください。 ・当日欠席のため課題等の提出が遅れる場合は別途定める提出期限内に提出してください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	45	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な住居に関する知識を踏まえて、わが国の特徴的な住まいの文化について、環境や社会などの形成要因を含めて説明できること。</li> <li>さらに、現在の住まいの文化をどのように将来につなげていくべきか、つなげていけるかについて、自らの意見を論理的に主張できること。</li> </ul>
		②	✓	
小テスト				
レポート	45	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の授業でレポートを課す。課題は授業の進捗状況や受講生の理解度を勘案して、授業中に指示する。</li> <li>適切で正しい日本語でないレポート、提出期限遅れのレポートは、減点の対象とする。</li> </ul>
		②	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性)</li> <li>・実際の住まいや資料などを通じて、授業・教科書での学習内容をより深めることができる。</li> <li>(実行力)</li> <li>・知識の獲得・深化のために授業以外への学習行動に取り組むことができる。</li> <li>(課題発見力)</li> <li>・講義での質疑応答やレポート課題において、常に問いかける視点をもつことができる。</li> <li>(創造力)</li> <li>・テーマ毎の学習内容の関連を考え、多面的な見方と、総合的なとらえ方をすることができる。</li> <li>(発信力)</li> <li>・ポイントや結論を明確に示し、わかりやすい表現で意見を述べることができる。</li> <li>(傾聴力)</li> <li>・話し言葉や書き言葉の内容を理解し、加えてその文脈にも思いをめぐらすことができる。</li> <li>(規律性)</li> <li>・講義に前向きに臨み、指示された課題等に真剣に取り組むという学習者の基本的勢を持続的に保ち続けることができる。</li> </ul>
		②	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①住居と文化について習得した基本的知識を元に、その文化が形成された背景の要因やその影響についても説明できること。 ②これに基づいて将来のより豊かな住生活についての意見を、多様な住み手のあり様を含めて、明確に表明できること。 S(秀)=①+②、A(優)=①	①住居と文化についての基本的知識が確実に習得されていること。 ②これに基づいて自らの将来のより豊かな住生活についての意見を明確に表明できること。 B(良)=①+②、C(可)=①

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1回 /	授業ガイダンス、「住まい」と「文化」の概要を理解する。	講義と質疑応答	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいや文化の概念を自らの言葉で説明できる	(復習)教科書1章。受講ノート (予習)レポート①。 ・住まいが必要な理由を5つリストする。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
2回 /	「住まい」のニーズ～なぜ住まいが必要なのかを考える。	講義と質疑応答	・レポート①提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいの必要性を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書4章。受講ノート (予習)教科書7章。レポート②。 ・住宅に住まう家族の形態を5つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3回 /	「住まい」と家族～ライフサイクル・ライフスタイルを知り、住まいと家族の多様性を理解する。	講義と質疑応答	・レポート②提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・ライフスタイルとライフサイクルの違いを説明できる。	(復習)教科書7章。受講ノート (予習)教科書2章。レポート③。 ・日本の住まいの特徴を5つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
4回 /	日本の住まいの変遷～日本住宅の特徴と様式を学ぶ。	講義と質疑応答	レポート③提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・日本の住まいの特徴や様式を説明できる。	(復習)教科書2章。受講ノート (予習)教科書3章。レポート④。 ・西洋の住まいの特徴を5つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5回 /	西洋の住まいの変遷～西洋住宅の特徴と様式を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート④提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・西洋の住まいの特徴や様式を、日本住宅と比較して説明できる。	(復習)教科書3章。受講ノート (予習)レポート⑤。 ・住まいの部屋の名称を10個リストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6回 /	住まいの部屋～間・室・戸とLDKという部屋の名称とその由来・意味を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑤提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・部屋の名称とその由来・意味を説明できる。	(復習)受講ノート (予習)レポート⑥。 ・住まいの部位の名称を10個リストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
7回 /	住まいの部位～床・壁・天井・柱・扉といった住まいの構成要素とその関係を知る。	講義と質疑応答	・レポート⑥提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいの部位についてその機能や役割を説明できる。	(復習)受講ノート (予習)レポート⑦。 ・木造住宅の長所・短所をそれぞれ5つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8回 /	住まいの構造～木造・鉄骨造・RC造の住まいの長所・短所を理解する。	講義と質疑応答	・レポート⑦提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいの3つの構造の長所・短所を説明できる。	(復習)教科書8章。受講ノート (予習)レポート⑧。 ・尺、寸、間(ケン)を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9回 / /	住まいの寸法～メートル法と尺貫法という寸法体系が住まいの文化に及ぼす影響を知る。	講義と質疑応答	・レポート⑧提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・2つの寸法体系の違いと現代の住まいでの使い方を説明できる。	(復習)受講ノート (予習)教科書5章。レポート⑨。 ・住まいの風通しの必要性・問題を5つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
10回 / /	住まいの環境～風・熱・音・光・湿度といった環境がどのように制御されてきたかを学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑨提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいの環境要素の制御・管理の仕方を説明できる。	(復習)教科書5章。受講ノート (予習)レポート⑩。 ・自分の住まいの中の椅子座と床座の使い分けを調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11回 / /	住まいの起居様式～椅子座と床座という起居様式の差異がどう変化してきたかを学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑩提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・椅子座と床座の今後の有り様について私見を述べることができる。	(復習)受講ノート (予習)レポート⑪。 ・住まいから外部化されている機能を3つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
12回 / /	住まいの機能・役割～休息・睡眠・食事・育児などの基本的機能がいかに充足されてきたかを学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑪提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいの機能の外部化・内部化について説明できる。	(復習)受講ノート (予習)レポート⑫。 ・庭の役割を5つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13回 / /	住まいと外部環境～家屋とそれを取り巻く庭との関係の違いが文化の基底にあることを知る。	講義と質疑応答	・レポート⑫提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいと庭の適切な管理の仕方を述べることができる。	(復習)受講ノート (予習)教科書6章。レポート⑬。 ・隣近所との大切な関係を3つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14回 / /	住まいと居住地～住まいは近隣・コミュニティ・都市との関係の中でより充実することを学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑬提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・居住地の環境向上の重要性と、地域管理参加への意欲を述べることができる。	(復習)教科書6章。受講ノート (予習)教科書9章。レポート⑭。 ・5年後、10年後、25年後の自分の住まいと生活を描く。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
15回 / /	これからの住まいの文化について、自らのライフスタイルをもとに考える。	プレゼンテーションと講評	・レポート⑭提出 ・プレゼンテーション ・将来の自らのライフスタイルのデザインに向けて私見を述べることができる。	(復習)教科書9章。受講ノート。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力